

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 28 日

Table with columns for 事務事業名, 地域医療再生事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 企画事業, 期間限定複数年, 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about hospital preparation in Sakuragawa City.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 26-30 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts (事業費) for 26-30 years, categorized by 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 years, listing items like 報酬, 需用費, 委託料, 負担金補助及び交付金, 旅費, 需用費, 委託料, 公有財産購入費, 備品購入費.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes implementation details for hospital preparation and construction.

事務事業名	地域医療再生事業	事務事業No.	20701000286	所属課	総合戦略室
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> 平成16年の医師研修制度の改革以降、医師不足などにより、病院経営が困難な状況になった。 公立病院の改革改善が国より示されたことを受け、茨城県においても再編・ネットワーク化構想、地域医療再生計画などにおいて、公立病院の再編統合や新中核病院整備が位置づけられた。 平成27年1月の両市の再度の合意内容変更により、筑西市民病院及び県西総合病院に山王病院を加え再編統合することにより、新たに、新中核病院を整備し、併せて、桜川市立病院を整備することになった。 	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> 県西総合病院の存続に関する決議が市議会で決議された。 病院では、施設の老朽化対策、耐震化対応や医師招聘や医療従事者の就業環境改善も求められている。 国、県からは、公立病院改革の観点から2公立病院の統合再編により早期の経営改革等の取組が求められている。 市民アンケート「地域で適切な医療が受けられているか」で「そう思う」「ややそう思う」の回答割合が平成25年に回復したがその後低下傾向となっており地域医療に対し不満や不安が増していると考えられる。 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	基本構想・基本計画を策定するうえで2公立病院の整備に関し、筑西市・桜川市において協議会を設置し関係機関との合意形成を図ることができた。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 急性期患者や医師確保、老朽施設問題解決など地域医療体制の充実のため、桜川市と筑西市による新中核病院整備が推進されてきたことから政策体制と整合している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立病院の役割は、地域において提供されることが必要な医療のうち、救急・小児などの採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供する。また、医療の提供、健全経営と医療の質の確保に取り組む必要があるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 新中核病院及び桜川市立病院整備の基本構想や基本計画策定が策定された段階であり、基本設計や実施設計など事業進捗に合わせ再検討する余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事務事業の廃止・休止は地域医療の崩壊につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 新中核病院及び桜川市立病院整備にあたり、今後県西総合病院組合の解散や新病院の開院手続き、さらには地域医療連携を検討するにあたり、福祉部門との連携協力が不可欠である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、建築工事、その他敷地造成、病院開設、病院運営等に伴う多額の事業費が想定される。今後の事業進捗により、多種多様な事務事業が発生するため、新たに体制強化も必要になる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市立病院整備は、桜川市の地域医療体制の確保に資する事業であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	本年度は筑西市と任意の協議会を設置し公立2病院の基本構想策定・基本計画を策定した。しかし、市民等に内容が正確に伝わっていないとの意見があり、その対策が必要である。また、県西総合病院で4月以降、3人いる外科の常勤医と内科医1人も退職するため、入院患者の受け入れも制限される。地域医療に及ぼす影響は大きい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○							×					×
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
		○																								
				×																						
				×																						
<ul style="list-style-type: none"> 地域医療の課題を解決するために、その中心となる新中核病院や桜川市立病院整備の早期実現が必要である。 市立病院の整備は大規模な事業となることから、建設関係、業務関係、関係機関との調整等、多種多様な業務が発生するため執行体制の強化が急務である。 筑西市と設置した任意の協議会の運営についても両市の執行体制のバランスを調整する必要がある。そのうえで両市で取り組むべき事項、各市で取り組むべき事項を整理し課題解決に取り組む。 医師の招聘等、関係大学との中長期視点での交渉・調整が必要なものは開院または開院後においても継続的に取り組む。 		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>